

大阪府の実施する屋根貸しによる太陽光パネル設置促進事業を進める際の標準的な基礎設置工法の選定結果について

標記について、大阪府E S C O提案審査会 太陽光パネル技術検討部会における審査の結果を基に、提案のあった基礎設置に係る全 23 工法を今後大阪府の実施する屋根貸しによる太陽光パネル設置促進事業を進める際の標準的な工法に選定しました。

記

No.	工法名称/型式等	提案者	適合屋根
1	エネブリッド(太陽光パネル固定システム) /グリッドベースM	アーキヤマテ株	陸屋根
2	エネブリッド(太陽光パネル固定システム) /連結ディスクADC (RC造陸屋根対応)	同上	傾斜屋根
3	サンパステムS	元旦ビューティ工業株	金属横葺き屋根
4	サンパステムT	同上	瓦棒葺き屋根
5	サンパステムY	同上	金属横葺き屋根
6	サンピカH	同上	ハゼ締式折板屋根
7	サンピカK	同上	重ね式折板屋根
8	サンピカR	同上	立平葺き屋根
9	サンピカT	同上	瓦棒葺き屋根
10	三晃式瓦棒葺 心木無し直付工法	株サカタ製作所	三晃式瓦棒葺き屋根
11	立平葺A(巻きハゼ、嵌合式)・立平葺B 直付工法	同上	立平葺A(巻きハゼ、嵌合式)・立平葺B
12	重ね式屋根 88タイプ 150タイプ S60タイプ ラック工法 鋼材ラック	同上	重ね式屋根 88タイプ 150タイプ S60タイプ

13	重ね式屋根 88タイプ 150タイプ S60タイプ ラック工法 自在ラック	同上	重ね式屋根 88タイプ 150タイプ S60タイプ
14	ハゼ式屋根 ハゼ式D(ハゼV)ハゼV-500・ハゼV-600 直付工法	同上	ハゼ式屋根 ハゼV-500・ハゼV-600
15	ハゼ式屋根 角ハゼ 丸ハゼ 直付工法高強度タイプ	同上	ハゼ式屋根 角ハゼ 丸ハゼ
16	ハゼ式屋根 角ハゼ 丸ハゼ 直付工法ライトタイプ	同上	ハゼ式屋根 角ハゼ 丸ハゼ
17	ハゼ式屋根 日輪折板馳2型 直付工法	同上	ハゼ式屋根 日輪折板馳2型
18	嵌合式ハゼ嵌合式屋根 BL500・BL600・スーパールー766・ハゼ嵌合式A 直付工法	同上	BL500・BL600・スーパールー766・ハゼ嵌合式A
19	ダイレクトステップ工法	サンコーテック(株)	陸屋根、傾斜屋根
20	サンキューブノ小型タイプ	株サンレック	陸屋根
21	PV-FIX ソーラーステイ(架台一体型)	田島ルーフィング(株) 大阪支店	陸屋根
22	PV-FIX ソーラーベース(傾斜屋根設置用:非断熱仕様) /ソーラーベース	同上	傾斜屋根
23	ベルベース工法 / ベルベースC2	株ベルテック	陸屋根

(企業名 50 音順)

以上

(選定理由：概要)

今回の審査にあたっては、RC造陸屋根、RC造傾斜屋根及び金属屋根を対象とした工法について、主に次の3点において安全性等の確認ができた工法が選定されました。

「防水保証」の面では、提出された資料により、RC造陸屋根、RC造傾斜屋根についてはパネル設置時に既設防水層の補修等により、防水機能の維持が可能であり、いずれも防水同時施工で10年保証が可能である事から問題ないと判断されました。

また、金属屋根はパネル設置時に既存防水層に影響を与えない工法、又は既存防水層に影響を与える場合についても、周囲に雨水進入防止の措置を施し、5年の防水保証も得られ、防水機能の維持が可能であることから問題ないと判断されました。

「構造・耐風荷重」の面では、提出された資料により、安全性を確保する手法についての必要な記載があり、それを現場での詳細設計・施工計画時にも反映する事で問題なく施工できるものと判断されました。

ただし、金属屋根は構造安全性に対する課題が重要な懸案となる為、当該屋根に設置する基礎工法については、既存屋根材の仕様・現況の劣化状況等の事前確認を必須条件とします。

「耐候性」の面では、提出された資料により、過去の実績、使用される材質の強度や実験結果等から、問題のないものと判断されました。

その他、各工法にて上記問題の解決や性能向上のための創意工夫が見られました。

なお、指定の様式により提出された資料の仕様を満足し、関係法令を遵守して施工される事を条件とすると共に、当該工法に起因するいかなる損害等についても、審査会並びに本府が一切の保証・責任を負うものではない事を申し添えます。

大阪府ESCO提案審査会 太陽光パネル技術検討部会 委員一覧

氏名	所属・役職
岡村 信也	一般財団法人 日本建築総合試験所 試験研究センター 構造部 部長
馬渡 勝昭	京都女子大学 家政学部 生活造形学科 非常勤講師
渡部 嗣道 (部会長)	大阪市立大学 大学院 生活科学研究科 居住環境学分野 教授

(敬称略：50音順)